

- ② 巡回による相談指導（県内18会場）
- ③ テレビ放送による指導（15分カラー・26回）

(7) 各種委員会

① 企画運営委員会

ア 企画運営委員会は、本事業全般の企画運営並びにはがき通信・巡回相談・テレビ放送による相談指導の方針や実施要項を策定する。

イ 企画運営委員会 (◎印委員長)

氏名	役職名	備考
菊池章夫	福島大学教育学部教授	◎
西久保禮造	福島大学教育学部教授	
庄司他人男	福島大学教育学部教授	
鈴木仁	福島県立医科大学教授	
佐藤延子	福島大学教育学部附属幼稚園副園長	
関ウタ	福島市教育委員会社会教育指導員	
古山直一	福島市教育委員会教育長	
丸樹敏男	福島テレビ報道製作局長	
丸子一夫	福島県保健環境部公衆衛生課長	
高橋清吉	福島県生活福祉部児童家庭課長	

② はがき通信委員会

ア はがき通信委員会は、はがき並びにちらしによる通信指導の企画運営にあたる。

イ はがき通信委員会 (◎印委員長)

氏名	役職名	備考
西久保禮造	福島大学教育学部教授	◎
関口はつ江	郡山女子大学短期大学部助教授	
今野金裕	福島県立医科大学講師	
須永秀子	福島市立三河台幼稚園主任	
遠藤久江	福島県立会津短期大学教授	

③ 巡回相談委員会

ア 巡回相談委員会は、巡回相談指導の企画運営並びに相談事例についての研究を行う。

イ 巡回相談委員 (◎印委員長)

氏名	役職名	備考
庄司他人男	福島大学教育学部教授	◎
河野義章	福島大学教育学部助教授	
小林澄憲	郡山女子大学短期大学部教授	
林偕子	郡山女子大学短期大学部助教授	
渡辺俊彦	福島女子短期大学助教授	
樋口勝也	桜の聖母短期大学助教授	
加藤一夫	福島県立医科大学講師	
山脇道子	福島市立野田保育所長	
橋本タツ	郡山市立鶴見担保育所長	
松崎博文	福島大学教育学部講師	

なお、企画運営委員である、菊池委員・西久保委員・佐藤(延)委員・関委員と、はがき通信委員全員が併任となる。

ウ 巡回相談会場参加者

個別相談者数 243名

集団相談者数 386名

エ 巡回相談会場市町村

天栄村・只見町・南郷村・塩川町・河東町・湯川村・矢祭町・矢吹町・川内村・鹿島町・船引町・いわき市（植田町）・飯野町・白沢村・郡山市・東村・月館町・いわき市（小名浜）

④ 4・5歳児の家庭教育手引書の配布

県内4歳児をもつ親を対象に、「すこやかな成長をねがって」を家庭教育資料として配布した。

4 家庭教育総合推進事業

(1) 趣 旨

家庭をとりまく経済社会状況が変化し、青少年の問題行動が増加する中で、今日の家庭教育の課題に対処するため、総合的な観点から家庭教育の充実方策を推定する。

(2) 実施主体 福島県教育委員会

(3) 実施時期 昭和59年5月～昭和60年3月

(4) 研究主題 「現代社会における家庭教育」
＝子どもの成長と親の役割＝

(5) 事業の内容及び方法

① 企画推進委員会の設置

ア 企画推進委員会は、全県的な視野で研究主題をとりあげ、分析検討をする。

イ 委員会は研究主題に即して、これまでの成果をとりまとめ、家庭教育指導資料を作成する。

ウ 企画推進委員 (◎印委員長)

氏名	役職名	備考
菊池章夫	福島大学教育学部教授	◎
徳田安俊	福島大学教育学部教授	
佐々木篤信	福島県立会津短期大学助教授	
小森澄憲	郡山女子大学短期大学部教授	
八島祐子	福島大立医科大学助教授	
国井庄八	福島県PTA連合会会長	
阿部和男	福島市中央公民館長	
海野清瀬	福島県婦人団体連合会事務局長	
新村邦吉	福島県教育庁義務教育課主幹	
坂本守正	福島県教育センター教育相談部長	

② 家庭教育指導者研究協議会の開催

ア 研究主題にもとづき今後の家庭教育のあり方について具体的に検討した。

イ 家庭教育指導者研究協議会の実施

期 日	会 場	参 加 者
11月6日	下郷町町民会館	210名
11月16日	中島村公民館	210名
11月30日	富岡町文化センター	220名

③ 家庭教育指導資料の配布

ア 家庭教育指導者研究協議会・家庭教育研究集会の資料として活用する。

イ 家庭教育学級等に配布しその活用を図る。

④ 家庭教育電話相談の開設

ア 家庭教育電話相談の愛称及び電話番号
「すくすくダイヤル」 (0245) 53-8222

イ 対 象 主として青少年に係る家庭教育上の諸問題